

弓道ながの

第17号

発行：長野県弓道連盟
会長 古澤 博
〒389-2253
飯山市中央橋通り
TEL0269(62)4121
編集：県弓連広報部会
印刷：㈱長野企画会議

平成18年度

県弓連役員総会報告

理事長 桜井耕三

1月29日、長野第一ホテルにおいて、平成18年度役員総会が開催されて、次に掲げる議題について報告・審議が行なわれ、決定した。

- 1、平成17年度事業報告
- 2、平成17年度決算報告
- 3、会計監査報告
- 4、平成18年度事業計画(案)
- 5、平成18年度予算(案)

詳細は総会資料によることとし、特記事項のみ報告する。

第1号議案から第5号議案までは、一部の修正があったが承認された。役員交替について

- 1、渡辺静夫副会長が病氣療養のため退任、後任には土川俊市氏に決定。
- 2、栗林實副会長が逝去されたため、



後任には清水克也常任理事が兼務することとし承認された。

なお、規約の改正のため「規約等改正検討委員会」が設置された。

委員は次の通り(順不同)。

- 山川茂樹 清水克也 外蘭公毅
古澤金蔵 村松康尾 杉田 博
岡田 眞 以上

連載

私の歩んだ道

大久保秀雄 範士
(長野市民新聞から転載)

- 3頁 -

URI

長野県弓道連盟
ホームページ
http://kyuren.cool.ne.jp
Email: kenkyuren@yahoo.co.jp



国際弓道連盟 2006年5月設立

『和をもって世界をむすぶ 弓の道』

全日本弓道連盟評議員会報告

評議員 山川茂樹
(県弓連副会長)

平成十七年度通常評議員会が、三月十二日に春のきさしの見える神宮の森の全弓連中央道場二階講堂において開催されました。桜井理事長と出席しましたので概要について報告します。

評議員一〇八名中、出席八二名、委任状二五名で、評議員会が成立し、鴨川全弓連会長が議長となり議事が進行されました。

一号議案 会計処理に関することについて、

- 1 新公益法人会計基準の導入、
- 2 文科省指導事項の改善、
- 3 国際弓道連盟へ十八年度二千二百萬円の助成について、
- 4 前払費用(仕掛り)の処理、
- 5 臨時中央審査の運営費改訂、
- 6 啓蒙事業活動費の申請について、

以上事務局より提案議決。

報告事項

- 1 国際弓道連盟設立準備の進捗状況について、魚住準備委員長より、
- 2 国体参加枠削減(案)の検討状況について、事務局の報告どおり

- 決定。北信越は成年男子3、女子2、少年男子2、女子2となった。
- 3 北海道、東京における地連組織改編に関する件。
- 4 地連の表彰に関するものについて。県連は現在十五位。

報告事項が終了し、二号議案に戻る。
二号議案 国際弓道連盟主要役員の派遣について、

全弓連より、会長、鴨川乃武幸先生、副会長、魚住一郎、関宗長各先生。

三号議案 十八年度事業計画(案)

事業方針として、本連盟は、弓道の統括団体として、本年度も更に弓道の普及振興を図り、国民体力の向上とスポーツ精神の涵養に資し、もって社会文化の進展に寄与すべく各種事業の実施。国際弓道連盟が発足するのに伴い、『和をもって世界をむすぶ弓の道』をスローガンに「真理の探究の実践」「善への誘い」「美に対する憧憬とその顕現」を標榜して

継続事業と新規事業の提案があった。
四号議案 行事計画 事業方針に基づき具体的な行事が提案された。
五号議案 分担金について
六号議案 収支予算書(案)について

県連の分担金は三十五万五千元。

収支予算書総括表から(単位千円)

当期収入合計	三五五、六〇四
前期繰越額	四九〇、〇二〇
収入合計	八四五、〇二四
当期支出合計	三九五、三二五
当期収支差額	△三九、七二一
次期繰越額	四五〇、二九九

七号議案 全弓連役員改選について
国際弓道連盟発足に伴う諸行事と関連するため、前以って役員を選考することとなり、副会長の鈴木三成先生を満場一致で会長に選出して、すべての議案が成立し終了した。

北信越弓道連合会

会長・理事長会議報告

平成18年2月25日 長野市

県弓連出席者 会長 古澤 博

理事長 櫻井 耕三

事務局長 岡田 眞

平成18年度事業計画

一、北信越弓道連合会会長・理事長会議

① 8月25日 飯田市(北信越国体)

② 11月11日 飯山市(北信越選手権)

③ 平成19年3月10日 長野市

担当県引継会

二、北信越四・五段講習会

① 5月21日(信越の部)

長岡市民体育館弓道場(新潟県)

② 6月18日(北陸の部)

石川県立武道館弓道場(石川県)

三、北信越称号受有者講習会

① 5月21日(四・五段と合同開催)

長岡市民体育館弓道場

② 4月1日・2日

石川県立武道館弓道場(石川県)

四、北信越地区女子講習会

6月24日・25日

県営富山弓道場

五、北信越地区指導者講習会

5月27日・28日

県営富山弓道場

六、北信越地区学校指導者講習会

7月29日・30日

石川県立武道館弓道場

七、北信越地区地連幹部講習会

19年3月17日・18日

上越市弓道場

八、全日本選手権大会

北信越ブロック予選会

7月23日

上越市弓道場

九、第27回北信越国民体育大会

北信越ブロック予選会

8月26日・27日

県営飯田弓道場(長野県)

十、北信越連合審査

① 6月4日(信越の部)

柏崎弓道場

② 7月2日(北陸の部)

石川県立武道館弓道場

③ 10月22日(北信越の部)

県営飯田弓道場

十一、(北信越) 錬士臨時中央審査

6月11日

小松市営弓道場(石川県)

十二、(北信越) 臨時中央審査

9月16日・17日

長野市営弓道場

県弓連人事(新任発令のみ)



副会長 土川 俊市



副会長 清水 克也

○平成18年2月1日副会長に委嘱する。

清水 克也
土川 俊市

連載①

私の歩んできた道

大久保秀雄



元長野県弓道連盟会長
範士八段 大久保秀雄

私の座右の銘は「無発の発」。

的に当てようと意識的に矢を発するのではなく、呼吸を整え、体の中からどんだん盛りが上がってくる力を感じながら、平常心を保つてつるを引き続けていくと心と身体の総体が爆発し、おのずと的に向かって矢が離れていく瞬間がやってくるということを示す言葉だ。

そう、弓道は的に矢を当てさえすればいい弓術とは違う。儀礼を重んじ、常に人間形成を念願とする道なのだ。

そんな弓の道にくしくも出会った私が、なぜ今日まで一筋に打ち込んでくることができたのか。私自身も自問自答しながら、懐かしい思い出をひもといてみたい。

大正11(1922)年10月25日、私は父善雄と母よし江が住む狐池の小さな借家で長男として生まれた。兄弟は3人。下に弟が2人おり、とりわけ4つ

下の弟、利美とはよく遊んだものだ。

小学校時代の私は気が弱い方だった。低学年のころは、学校から帰るとすぐに近所に住んでいた3歳ほど年長のボスの家に行き、3、4人の仲間と一緒に、ボスの腰ぎんちゃくよろしく、くっ付いていた。

しかし、結局取り巻きの私たちは、ボスにいじめられ、泣かされると相場が決まっていたので本当は嫌で嫌で仕方なかった。ボスの家に行かなければ殴られる。それが怖くて毎日通っていただけだったのだ。

今考えると、ボスのいじめ方は、かなり危険を伴う時もあった。

ある時、ボスがどこからか生石灰を入手してきて空き缶の中に入れ、水を注いだ。ジュブ、ジュブ、ジュブと泡が出てとても嫌なおいがした。するといきなり「かいでみる！」と私の頭を押さえつけてきた。

「ウワーツ」。今でも忘れられない。頭がおかしくなってしまうんじゃないか、と思うほどひどいにおいだった。

またこんなこともあった。ボスに連れられた大門通りを歩いていくときのこと。屋台用の電灯のソケットが、線につながれてたぶんぶら下がっていた。まだ昼間だったので、電球は取り外されたままだったのだ。

するとボスが「おい、あそこに指を入れてみる」と言い出した。とにかく言う通りにしないと殴るので、言われるままにソケットに指を入れた。ピーッと、ものすごい衝撃と痛みが走った。

恐ろしくなつて「ウワーツ」と泣き出して、ボスは「おっ、怖かったか」と、罪悪感のかけらもない。そして、私ときたらそんなにまでされても、まだ泣きながらボスの後を付いて歩いていった。

当時は各町に、ボスを頂点として何かにつけて一緒に活動するグループが幾つもあり、正月のどんと焼きも、そのグループごとに運動場や田んぼで行ったものだった。少しでも大きなどんと焼きのやぐらを作り、他グループを圧倒するのがみんなの目標だった。

「大きなやぐらを作るには、より大きなしめ飾りが少しでも多くあった方がいい」とボスに言われ、私たちはなんと元旦からしめ飾り集めに奔走したものだ。上等そうなものばかり狙って、各家庭の玄関からソーツと外して回つたが随分ひどいことをしたと思う。

近所にあった映画館・菊田劇場に、ボスや何人かの仲間たちと通い、お手伝いをしたことも忘れられない思い出だ。これは本当に楽しかった。

仕事はピラ配りと下足係。館内が畳敷きだったため、お客さんの下駄を管理する必要があったのだ。無報酬だったが、代わりに毎回映画をただで見させてもらえる特典があった。弁士が横にいてせりふをしゃべる無声映画で、大好きだったチャンバラ物は毎日見ても飽きなかった。

また、当時は道路がでこぼこで車も1時間に2、3台くらいしか通らなかつたから、緑町の通りにトラックがやってくる後ろから荷台に飛びついて、どれくらいぶら下がっていられるかという遊びもよくやった。

けがもしないで、よくそんな遊びができたものだと思うけど、道も悪かつたから、トラックも時速20キロくらいでしか走れなかつたんだろう。運転手に気付かれ、「コラーツ」と怒られるまでつかまっていたが、100メートルくらいはぶら下がれたと思うね。

そのほか、冬場は田んぼで三角ペーソやキャッチボールをしたり、雪が降れば街の中を竹スキーで滑り回ったりして遊んでいた。車が少なかったから、街全体が子供たちの遊び場になっていた。今の子供たちと比べると、そういう点は恵まれていたように思う。



昭和8年4月2日、弟の利美が小学校へ入学した日の記念写真。右は5年生になったばかりの私。

長野市民新聞
平成13年12月20日〜平成14年1月20日

女子講習会を受講して

塩尻支部 加藤さち子(五段)



三月十二日に塩尻市弓道場に於いて中南信地区女子講習会が行わ

れました。今年は四十三名と多勢の方が参加され、教士七段小池房子先生、教士六段平井礼子先生を迎え女子講習会ならではの内容でした。当日は雨降りて寒さが身にしみる一日でしたが道

場は受講生の熱気に包まれ有意義な一日となりました。

長野県弓道連盟副会長土川俊市先生挨拶のあと講師二名による一ツ的射礼、続いて受講生の一手行射を見ていただきました。女子講習会の重点と言えは樺さばきですが今回は立射での樺さばきを詳しく教えていただきました。坐射の樺さばきも同様に受講生同士工夫しながら何度も繰返してみました。まだ和服に慣れない低段者を高段者が個別に指導すると言った場面も見られ、私自身も再確認が出来ました。昼食後は、射技指導へと移ります。受講生一



人一人とても熱心に細かい所まで見ていただきました。時間の経つのは早い物で、すでに三時を回り休憩後は練立

持的射礼を学びました。選ばれた五名の方の演武は五人の調和と間合いがすばらしく整い流れる様に進みました。そして四段までが、審査、五段が定めをとつての持的射礼、称号受有者による一ツ的射礼を行いました。小池房子先生の「本当にすばらしい射を見せてもらってとてもうれしい」と言葉をいただき受講生全員充実した一日だったと感じています。

●新士号取得特別講習会

○18年2月15日〜17日(中央道場)

この特別講習会は、後進の指導や弓道普及に貢献しながらも職業や健康などの関係で錬士の称号を取るチャンスに恵まれない人を対象に、各地連の推せんで受講者を選定し3年ごとに開催されている。

全国から42人が受講、新錬士が誕生した。県関係取得者

上沼 茂(飯伊)

滝沢 利夫(上小)

栗林 實範士(県弓道連盟副会長) 逝去



栗林 實範士は去る1月2日かねて療養中のところ突然逝去されました。享年78歳。

昭和14年、小諸商業高校弓道部で高橋芳三教士の手ほどきを受け弓道を始める。25年からは小諸弓道会で西沢美好教士のもと修練。小諸懐古射院や近隣の高校で指導するなど県弓道連発展に尽力し、昭和62年に県体育協会会長賞を受けた。長野県弓道連盟副会長。地域では県時計眼鏡商組合副会長、小諸商工会議所副会長、小諸街づくり研究会長など歴任。
栗林範士の指導中の言葉は、いつも「め一杯引け！真剣に引け！」であり正に「射即人生」のこゝ生でありました。ご冥福をお祈りいたします。

平成18年度兵庫国体 長野県強化指定選手(少年男女)

○少年男子 (28名)

▽北信地区 佐々木祐介・宮嶋竜之(須坂) 齋藤正岳・長田宏之(長野商業)
小林信也(中野実業) 笠原拓洋(長野東) 小林弘幸(長野吉田) 内田祐康(長野日大) ▽東信地区 手塚 暢(上田東) 森泉龍太(野沢北) 西山寛之(上田染谷ヶ丘) 堤 真也(野沢南) ▽中信地区 伴在 裕(松商学園) 内山貴之(松本県ヶ丘) 帯刀康真与(大町)

石井悠司・伊藤 弥(松本深志) 長澤雄太・三村恵太郎(塩尻志学館) 高木亮佑(田川) ▽南信地区 森下雄介・武田晴起(伊那弥生) 宮下拓人(飯田) 川上達也・長沼真司(阿南) 板山洗介(赤穂) 高木利真(下諏訪向陽) 橋爪達(岡谷南) 飯澤良太(伊那北)

○少年女子 (30名)

▽北信地区 仁科美保(長野西) 宮下玲佳(文大長野) 金井はる香(長野日大) 武田めぐみ・酒井瑞恵(屋代) 小沢 翠・酒井麻衣子(長野吉田) 中澤美沙(長野西) 山崎由真(長野日大) ▽東信地区 石川理紗(丸子実業) 赤羽根愛梨(野沢北) 薩田かおり(小海)

小林未来・小林明日美(岩村田) 原田和佳(上田) ▽中信地区 山本小夜子・本田涼子(塩尻志学館) 征矢野美香(松本深志) 萩原美穂(豊科) 降幡穂奈美(松商学園) ▽南信地区 登内綾香(伊那西) 堀尾翔子・宮脇 瞳(飯田女子) 遠藤美咲・中村日南(岡谷南) 北原久美子(下諏訪向陽) 滝澤笑美・寺沢美紀(下伊那農業) 遠山美佳・池上智美(赤穂) 茅野さやか(東海大三)

第2回中日本高等学校弓道大会 長野西トーナメント制の部第3位!!

17年12月25日〜27日/岐阜メモリアルセンター・長良川弓道場

北信越5県・東海4県・近畿5県の代表 男子36校・女子48校が参加
○長野県からの参加校
〔男子〕 下諏訪向陽・松本県ヶ丘
〔女子〕 豊科・長野西・長野日大

◇トーナメント制の部

25日……午後予選1・2回戦

26日……午前予選3回戦

ベスト16による決勝トーナメント

予選通過校 男子……下諏訪向陽

女子……長野西・豊科

トーナメント結果(3人×4射)

弓道紹介

飯島町弓友会

会長 山口安彦

「ふたつのアルプスが見える町」を標榜する飯島町のなかでも、弓道場は西に中央アルプス、東に南アルプスを望む眺望抜群の河岸段丘上に位置しています。南面する射場は特に冬暖かいので国体候補選手の強化練習や合宿などに利用されています。駐車場も広く、広さも手頃で大変使い勝手のいい道場ではないかと自負しています。

そんな道場での稽古は、小学生から七〇代の高齢者まで、また地域も松川町から伊那市までの幅広い会員により日夜熱心に行われております。

談義、弓談義に世代を超えて話が弾みます。

普段の稽古は一手ずつで、最初の一撃は坐射で行います。さらに、入退場は揃って行い一人ひとりが勝手に行射するようにはしません。大会や審査のために改めてその練習をしなくてもいいように普段の稽古にとりいれています。加えて月二回、今井勉教士の指導で射礼研修もみっちり行っております。

一八年度からは弓友会が弓道場の指定管理者となり、使用許可から利用料の徴収、諸経費の支払いまで一切を行います。利用料の増収をはからなくてはなりません。昨年京都出身の方が会に加入され、その縁で京都の大学の合宿が入りましたので今年さらにはそちらを増やしていきたいと考えています。



毎週火曜・金曜の夜は教室の日で、小中学生や高校の弓道部員が来て活気を呈します。稽古の途中の休憩時間には、みんなでお菓子(なぜか一年中絶えたことがあります)や果樹農家の会員(差し入れのリンゴ・ナシなどを食べながら、人生

現在二〇名ほどの会員ですが、この仲間を一人でも増やすことが目下の課題です。

◎男子1回戦 下田北(静岡県) 9中
—下諏訪向陽8中(敗退)

◎女子1回戦 長野西9中—彦根翔陽
(滋賀県) 6中(長野西2回戦へ)

長岡(新潟県) 8中—豊科7中(敗退)
2回戦 長野西8中—長岡(新潟県)

5中(長野西準決勝へ)
準決勝 福井商業7中—長野西4中
(長野西3位)

第1位 一宮女(愛知県)

第2位 福井商業(福井県)
第3位 長野西(村松清香・中沢美
沙・仁科美保・倉崎真衣)

若狭東(福井県)

◇総的中数の部
26日……午後1・2回戦
27日……午前3回戦

○女子 豊科 36射24中 6位
(優勝 一宮女 36射29中)

○男子 下諏訪向陽 36射24中 7位
(優勝 金沢市立 36射33中)

第6回全国弓道遠的大会

1月9日/全弓連中央道場

県関係者の成績

▽成人男子の部

三位 志賀 裕之(参段・信州大)
五位 長谷部裕之(参段・信州大)

▽一般男子の部
五位 藤原 悠次(四段・信州大)

第56回三十三間堂大射大会

1月15日/京都三十三間堂特設射場

県関係者の成績

▽成人男子 参加者796人

二位 河野 博利(四段・信州大)

四位 末吉 正尚(三段・信州大)

五位 志賀 裕之(参段・信州大)

▽称号者 参加者142人

三位 清水 和代(錬六・飯山支部)

第37回春季北信越学生弓道大会

○18年3月9日~11日/大島町弓道場

参加14大学

▽男子団体①金沢学院大学②信州大学
A③富山大学A

▽女子団体①新潟大学A②富山大学医

B③信州大学B

▽男子個人①藤原悠次(信州大学)②
外山孝幸(金沢学院大学)③志賀裕之
(信州大学)④勝田剛進(富山大学)

⑤山本優明(福井工業大学)⑥長谷部
裕之(信州大学)

▽女子個人①谷方瑠衣(金沢学院大学)

②御子柴敬子(信州大学)③齋藤典子(新
潟青陵大学)④渡辺 純(信州大学)

私と弓道

上田染谷ヶ丘高校 滝沢 未来



私は中学三年生の時に初めて弓道を
知った。高校に入ったら、どの班活に入
ろうか迷っていた時に目に止まったの
が弓道だった。名前は聞いたことがあっ
たが、詳しい事は分からなかった。

高校に入学し、さっそく班活の様子を
見学した。先輩達が袴を着て弓を射る姿
が印象的で、そのかつこ良さそと凛々しさ
に心を奪われ入班した。染谷では弓道は
とても人気がある班活の一つであり、入
班した当時は班員が七十人もいた。大勢
の仲間と明日から弓が射けると思い、心
を弾ませていた。しかし、そう甘いもの
ではなかった。型造りやゴム弓練習、巻
き藁などの下積みが三カ月以上も続い
た。なぜここまで時間をかけてやらなけ
ればならないのか不思議に思うことも
あった。先輩達からは後々分かることだ
と聞かされていた。

八月になり、やっと射場入りが決まっ

た。今までの下積みが長かった分、その
喜びは大きかった。いざ射場で弓を射っ
てみて初めて先輩達の言っていた意味
が分かった。今までと感覚が違い、型が
変わって思うようにできなかった。あま
りにひどいと、もう一度下積みの段階に
戻されてしまうもいて、改めて基礎の
大切さを実感した。

月日が経ち、いつの間にか弓道は日常
生活の一部になっていた。その時間は心
が穏やかになり、すこく落ちつけた。季
節ごとに変わる射場の中からの風景は
集中心を一層高め、楽しませてくれた。
だから班活を辞めたいと思ったことは
なかった。それだけでなく班員の仲間に
も恵まれ、やりやすい環境でもあった。
私はこんなに居心地が良く、時には熱く
燃えることができた弓道に出会えたこ
とに感謝したい。



各地大会 結果報告

「新年度射会」―長野支部―

○1月15日／長野運動公園弓道場

参加者33名(14射)

長野支部は新年を祝って射会を行った。

- ①下坂哲也11中
- ②小池房子11中
- ③伝田千里9中
- ④酒井みどり8中
- ⑤大蔵 努8中

18年度支部総会(射会)

○2月19日／長野運動公園弓道場

参加者39名(8射)

- ①大蔵 努7中
- ②鷹野昌子7中
- ③奥山誠治6中
- ④原 利彦5中
- ⑤小池房子5中

第24回飯島町弓友会百射会

○2月11日／飯島町弓道場

参加者24名

- 1位 90中 前沢 秀夫(宮田村)
- 2位 70中 中島 啓(天竜村)
- 3位 68中 丸山 三夫(松本市)
- 4位 66中 渡辺 和人(松本市)
- 5位 64中 久保田智恵(伊那市)

第13回中野冬季100射会

○2月19日／中野市営弓道場

参加者44名

成績は次の通り

- ①山崎 哲80中(中野)
- ②林 英彦75中(中野)
- ③土屋義雄66中(中野)
- ④伝田千里66中(長野)
- ⑤矢ヶ崎英次郎64中(長野)
- ⑥広田義照62中(塩尻)

第14回駒ヶ根体協100射会

○2月26日／駒ヶ根市弓道場

参加者25名

成績は次の通り

- ①前沢秀夫76中(宮田)
- ②春日 貴70中(下平)
- ③柴 種徳70中(伊那)
- ④今井 勉61中(飯島)
- ⑤湯沢幸司(東伊那)

第24回全国高等学校弓道選抜大会

○平成18年3月18日〜20日

福島県博多の森弓道場

- ▼男子個人予選(4射)
- 清水 哲平(赤穂)
- 2中 落選
- ▼女子個人予選(4射)
- 村松 清香(長野西)

4中 決勝進出

▼女子個人決勝(射詰め)

8位 村松 清香(長野西)

▼男子団体予選(12射)

松本深志 12中

吉田 康将・石井 悠司

伊藤 弥・丸山 敏明

決勝トーナメント進出

▼決勝トーナメント1回戦

松本深志 10―8 森(静岡)

▼決勝トーナメント準々決勝

松本深志 8―10 岩国工(山口)

ベスト8

▼女子団体予選(12射)

豊科 6中

桐原 樹理・宮島 恵

萩原 美穂・清水 文佳

落選

「競技部員研修会」行わる

競技部長 清水克也

先生を迎えて予定通り行われた。

冒頭、栗林先生のご冥福を祈り黙禱

を捧げ、篠田先生先導により礼記射義、

射法訓を唱和し講師山川先生の矢渡し

で研修会が始まった。内容は前半、講

師による全弓連競技規則のポイント説

明で、遠的競技の項目から始まり、引

き続いて禁止事項及び罰則規定の詳細

について勉強した。殊に遠的の掃き矢

とはずれ矢について、又矢番え完了時

点等について再確認した。後半は、介

添えの具体的手法、矢の受渡し動作の

ポイント、又射手の矢に於ける進行係

の弓・矢の取り扱い方を各々部員が

交代で実践し講師より指導を受けた。

最後に、全員参加で持的射礼・繰り

立ち射礼など実際に行い、閉講式に講

師より講評があり閉会となった。講習

会終了後近くのそば処「山がた」で懇

親会(自費)を行い部員相互の交流を

深めて散会した。

今年も競技部の主管する五つの競技

会が計画されていますが、大勢の弓士

の皆様方のご参加とご協力を心よりお

願い申し上げます。



行事予定

○春季講習会 4月2日 長野 佐久 塩尻 飯島	○東信式段以下審査 5月28日 小諸	○定期中央審査 7月7・8日 仙台
○全日本女子大会(中日本の部) 4月9日 大津	○県高校総体 6月3・4日 長野	○東北錬士臨時中央審査 7月9日 仙台
○中信四段以下審査 4月16日 塩尻	○北信越連合審査 6月4日 柏崎	○伝達講習会上級 7月9日 中野 長野 東御 塩尻 駒ヶ根
○南信式段以下審査 4月16日 茅野	○ねりんピック県大会 6月10日 塩尻	○県遠的選手権大会 7月16日 飯田
○勤労者県予選 4月16日 駒ヶ根	○全国勤労者大会 6月9・11日 由利本荘市	○全日本遠的県予選会 7月16日 飯田
○国体成年・少年2次選考会 4月22日 護国 4月23日 長野 4月29日 飯田	○北信越錬士臨時中央審査 6月11日 小松	○全日本北信越予選会 7月23日 上越
○全日本弓道大会 5月4・5日 京都	○北信越高校 6月17・18日 金沢	○伝達講習会中級 7月24日 長野 上田 岡谷
○定期中央審査 5月6・7日 京都	○県近的選手権大会 6月18日 上田	【各地区大会】 ○駒ヶ根大会 4月9日 駒ヶ根
○学生特別審査 5月13・14日 東京	○教士研修会 6月24・25日 上田	○長鉄近県大会(高校) 4月9日 長野
○全日本近的県予選会 5月14日 塩尻	○女子講習会 6月24・25日 富山	○善光寺大会 4月23日 長野
○信越講習会(四・五・錬) 5月21日 長岡	○全日本大学選抜大会 6月25日 東京	○上信越大会(一般) 4月23日 小諸
○南信四段以下審査 5月21日 飯田	○国体成年・少年男女決定戦 7月1・2日 飯田	○北信大会 4月29日 飯山
	○全国中学生県予選会 7月2日 塩尻	○護国神社大会 4月29日 松本
	○北陸連合審査 7月2日 金沢	○県下木曾義仲大会 5月3日 日義
		○佐久鯉祭大会 5月5日 駒場
		○春季大会 5月21日 池田
		○小満祭大会 5月21日 白田
		○無相大師一般大会 6月3日 中野
		○近県大会 6月4日 上田
		○県下木曾楠川大会 6月4日 上田

編集後記

▼メダル獲得ゼロではないかと恐れていたトリノオリンピック。荒川静香が見事金メダルを獲得。日本中が感動に包まれた。人に感動を与えられるような弓を引けるようになったものだ。

▼元県弓連会長の久保秀雄先生のご厚意により、長野市民新聞に掲載された「私の歩んだ道」を本誌でも連載させていただくことになりました。どうぞご期待ください。

▼飯山の雪はものすごい。2月19日飯山弓道会総会に行ってみてその積雪の凄まじさに絶句。雪深い冬にじっと春を待つて耐えるような会でありたい。

▼中日本高校大会に参加してきました。岐阜もこの冬は何十年振りかの大雪だそうで道場周囲に高く積み上げられた雪の壁。格好の観覧席となり、高い位置から生徒たちの射を見させてもらった。基本に忠実な射からの的中は心が清められる思いがする。

▼「早い」「正確な」県連ホームページ実現のため是非情報をください。できましたらメールで。(飯田秀樹)